

京都御所と京都府立植物園にいた矮小と小型の モンシロチョウ (シロチョウ科)

Shin KUBOTA : Dwarf and small forms of *Pieris rapae crucivora* (Pieridae)
at botanical garden and Imperial Palace in Kyoto, Japan

久保田 信

モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* の矮小型が、日本から少数例だけ報告されている(久保田・山本, 2001)。2011年の6月23日と7月5日に、矮小型と小型のモンシロチョウを京都御所と京都府立植物園で発見し、一部を採集したので報告する。

2011年6月23日10時半頃、1個体が太宮御所西側の溝で死亡していた。後翅には亀裂が入っていたが、他の部分は傷んでおらず、まだ死後時間が経っていないで体や翅は柔らかだった(表1)。その日、京都市内は晴天に恵まれ、京都府立植物園では複数のモンシロチョウが飛んでいたが、いずれも普通サイズのものであった。

表1 京都御所と京都府立植物園で採取したモンシロチョウの矮小型と小型の体サイズ

前翅長 (mm)	触角長 (mm)	体長 (mm)	採集場所・月日
22	9	13	京都御所2011年7月5日
24	11	17	京都御所2011年7月5日
26	11	17	京都府立植物園 2011年7月5日
27	11	19	京都御所2011年7月5日
27	11	19	京都御所2011年6月23日

2011年7月5日9時半から10時半まで、京都御所の南西端から北東端までを往復し、太宮御所の西側と南側で往路に3個体、復路に2個体の

生体を発見し、このうち3個体を採取した(図1; 普通サイズの2個体は採取せず)。また、同日、府立植物園で午後に複数個体があったが、そのうちの小型の1個体を採取した(表1; 普通サイズは採取せず)。この日は晴天で、快晴であった。矮小型は飛びかたが普通サイズより低空を飛び、スピードも遅く、手で捕まえやすかった。

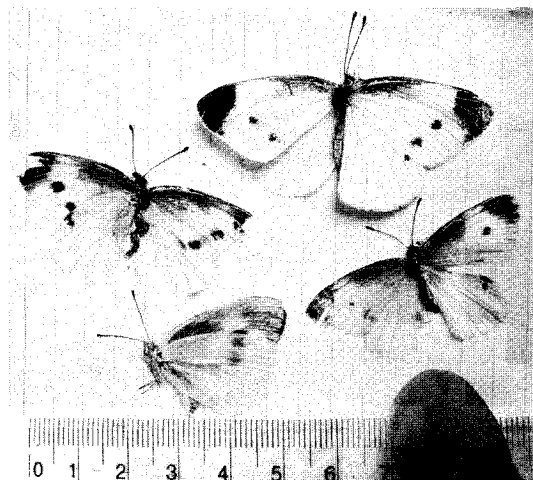


図1 2011年7月5日に京都御所と京都府立植物園(左下の両翅を閉じた1個体)で採取した矮小型と小型のモンシロチョウ

これらの個体の体部位のサイズを、これまで報告されている矮小型(久保田・山本, 2001)と比較すると、今回の最小の1個体は矮小型としてもよいが、残りの4個体は小型になる。

引用文献

久保田 信・山本道也. 2001: 和歌山県白浜町
で出現したモンシロチョウの矮小型 (鱗翅
類, シロチョウ科). 南紀生物, **43**(1), 53-
54.

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)